6. 農薬の適用病害虫の範囲、使用方法及び使用期限

6. 展集の週用病音虫の範囲、使用方法及の使用射限 ジベルルを含む									
作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	農薬の総使用回数		
かんきつ (苗木、ただし、 温州みかんを除く) かんきつ(不知火、 ぽんかん、かぼす、 清見、はるみ、ワシ ントンネーブル、日向 夏、すだち、平兵 衛酢、長門ユズギチ	花芽抑制による 樹勢の維持	ジベレリン 25~50ppm	50~250 L/10a	12~3 月		立木全面散布 又は枝別散布	1 回		
		ジベレリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月		立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60~80 倍液に加用)			
		ジベレリン 10ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロトプロジャスモン 2000 倍液に加用)			
(無核)、温州みか ん、きんかん、紅ま		ジベレリン 25~50ppm				立木全面散布 又は枝別散布			
どんなを除く)	落果防止	ジベレリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後	1回	散布 散布(プロとトロジャスモン 2000 倍液に加用)			
不知火はるみ	花芽抑制による 樹勢の維持	ジヘンリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月		立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60~80 倍液に加用)	3 回以内		
		ジベレリン 10ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロトドロジャスモン 2000 倍液に加用)			
紅まどんな		ジベレリン 25~50ppm				立木全面散布 又は枝別散布			
	落果防止 ジベンリン 10ppm		50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後		散布 散布(プロとトロジャスモン 2000 倍液に加用)			
	水腐れ軽減	ジベレリン 0.5~1ppm	50~500 L/10a	着色終期 但し、収穫7日前まで		果実散布			
ぽんかん	花芽抑制による 樹勢の維持 落果防止 水腐れ軽減	ジベンリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月	1 回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60~80 倍液に加用)	1 回		
		シ`ヘ`レリン 10ppm	10ppm 50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用)			
		ジベレリン				立木全面散布 又は枝別散布	IЩ		
		25~50ppm ジベンリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後		散布 散布(プロヒトロジャスモン 2000 倍液に加用)			
		ジベレリン 0.5ppm	50~500 L/10a	着色始期〜 4 分着色期 但し、収穫 21 日前まで		果実散布			

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジベレリンを 含む農薬の 総使用回数
長門ユズキチ (無核)	花芽抑制によ る樹勢の維持	ジ ヘ ンリン 10ppm ジ ヘ ンリン	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用) 立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	25~50ppm ジベンリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後		散布 散布(プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用)	
	着果安定	ジベンリン 50ppm		開花期~ 開花終期		花又は 果実散布	
	果皮の 緑色維持	ジベンリン 10~25ppm	50~400 L/10a	収穫予定 14~30 日前		果実散布	
すだち	花芽抑制による樹勢の維持	ジ ベ レリン 10ppm ジ ベ レリン	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後	1回	立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用) 立木全面散布 又は枝別散布	
,,,,,	落果防止	25~50ppm ジベンリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後		散布 散布(プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用)	1 回
	果皮の 緑色維持	ジベンリン 5~25ppm	50~400 L/10a	収穫予定 7~30 日前		果実散布	
平兵衛酢 かぼす	花芽抑制によ る樹勢の維持	ジ`ペレリン 10ppm ジ`ペレリン	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プ゚ロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用) 立木全面散布 又は枝別散布	
	落果防止	25~50ppm ジャンリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後		散布 (プロト ロン・ヤスモン 2000 倍液に加用)	
	果皮の 緑色維持	ジベンリン 10~25ppm	50~400 L/10a	収穫予定 14~30 日前		果実散布	
ヷシントンネーブ [*] ル	花芽抑制によ る樹勢の維持		200~700 L/10a	収穫後~3月		立木全面散布 又は枝別散布 (マジ油乳剤 60~80 倍液に加用)	
		ジ ヘ	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロトーロジャスモン 2000 倍液に加用) 立木全面散布	
	落果防止	25~50ppm ジベンリン 500ppm	30~40 L/10a	満開 10~20 日後の幼果期		又は枝別散布 幼果に散布	
日向夏	ジベンリン 2.5ppm 花芽抑制によ る樹勢の維持 ジベンリン 10ppm	ジベンリン	200~700 L/10a	収穫後~3月		立木全面散布 又は枝別散布 (マジ油乳剤 60~80 倍液に加用)	
		10ppm ジベンリン	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用) 立木全面散布	
	無種子化 落果防止	25~50ppm ジベンリン 300 ~500ppm	30~40 L/10a	満開 7~10 日後		又は枝別散布 果実散布	

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジベレリンを 含む農薬の 総使用回数	
清見		ジベンリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月		立木全面散布又は枝別 散布(マシン油乳剤 60~80 倍液に加用)		
	花芽抑制によ る樹勢の維持	ジ^ レリン 10ppm ジ^ レリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用) 立木全面散布 又は枝別散布		
	落果防止	ジベンリン 25~50ppm ジベンリン 10ppm	50~100 L/10a			散布 散布(プロヒドロジャスモン 1000~2000 倍液に加用)		
きんかん		ジ`ヘ`レリン 2.5ppm	200~700 L/10a	収穫後~3月	1 回	立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60~80 倍液に加用)		
	花芽抑制によ る樹勢の維持	ジベンリン 10ppm ジベンリン 25~50ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用) 立木全面散布 又は枝別散布	1回	
	落果防止	ジ^レリン 25~50ppm ジ^レリン 10ppm	50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後		散布 散布 (プロヒドロジャスモン 2000 倍液に加用)		
	着果安定	ジ`ヘ`レリン 300ppm	30~60 L/10a	一番花開花期		花に散布		
温州みかん (苗木)	花芽抑制によ	ジ^*レリン 25~50ppm ジ^*レリン 10ppm	50~250 L/10a	11~1 月		立木全面散布 又は枝別散布 立木全面散布 又は枝別散布 (プ・ロト・ロジ・ャスモン 1000~2000 倍液に加用) 立木全面散布 又は枝別散布 (マジン油乳剤 60~80 倍液 又は展着剤に加用)		
		2.5ppm	200~700 L/10a					
温州みかん	る樹勢の維持	シェベンリン 25~50ppm シェベンリン 10ppm	50~250 L/10a	収穫直後~ 収穫約1ヵ月後		立木全面散布 又は枝別散布 立木全面散布 又は枝別散布 (プロヒドロジャスモシ 1000~ 2000 倍液に加用)		
		ジ ヘ ゙レリン 2.5ppm	200~700 L/10a	11~1 月 但し、収穫後		立木全面散布 又は枝別散布 (マシン油乳剤 60~80 倍液 又は展着剤に加用)	3 回以内	
	落果防止	ジ ヘ レリン 10ppm ジ ヘ レリン 25~50ppm	50~100 L/10a	開花始め〜 満開 10 日後		散布(プロヒドロジャスモン 1000~2000 倍液に加用) 散布		
	浮皮軽減	ジベンリン 1~5ppm		収穫予定日の3ヵ月前 但し、収穫45日前まで		果実散布 (プロヒドロジャスモン 1000~ 2000 倍液に加用)		

作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	ジベレリンを 含む農薬の 総使用回数
かき	落果防止	ジベンリン 12.5~200ppm	30~100 L/10a	満開 10 日後	1 回	幼果及び へたに散布	1回
すもも(貴陽)	着果安定	ジ^ンリン 100~200ppm	20~50 L/10a	満開 20~30 日後 (第 1 回目) 満開 50~60 日後 (第 2 回目)	2回	果実散布	2 回
アセロラ	着粒安定	ジベレリン 25ppm	100~400 L/10a	開花期	1 花当り 1 回	花に散布	1 花そう当り 3 回 以内
野菜類	発芽促進	ジ ヘ レリン 50~200ppm	_	は種前	1 回	種子浸漬	1回
みつば (軟化栽培 を除く)		ジ`ベレリン 10ppm	50~100	本葉 2~3 枚時 (第1回目) とその2週間後 (第2回目) 但し、収穫14日前ま で	2 回	葉面散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は2回以内)
みつば (軟化栽培)	生育促進	ジ^レリン 20~50ppm	L/10a	根株伏込時	1回	根株上面に散布	2回以内 (種子への処理 は1回以内、根 株伏込時は1回 以内)
ふき		シ゛ヘ゛レリン 25ppm	50∼300 L/10a	葉数 3~4 枚時 (草丈 10~30cm 頃)		全面散布	1 回
セルリー	生育促進 肥大促進	ジベレリン 50~100ppm	20~200 L/10a	収穫予定7~20日前		葉面散布	2回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は1回以内)
畑わさび	花茎の抽出時 期促進及び 発生量増加	第1回目 ジベンリン 100ppm 第2回目 ジベンリン 100ppm	1 株当り 2mL	花芽分化後の 10月下旬(第1回目) 及び第1回目処理後 約10日後の11月上 旬(第2回目) 但し、収穫60日前ま で	2 回	株の中心部に散布	3回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は2回以内)
たらのき (促成栽培)	萌芽促進	ジベンリン 50ppm	100~200 mL/m ²			駒木散布	
うど	休眠打破に	ジベレリン 50ppm	1株当り 20~25 mL	伏込時	1回	根株散布	1回
(春うど)	よる生育促進	シ゛ヘ゛レリン 50~100ppm				根株浸漬	
\7\	空どう果防止	ジベンリン 10ppm	1 花房 当り 5mL		1 花房当り 1 回	花房散布 (トマト落果防止剤と併 用)	種子への 処理は1回、1花 房当り1回
なす	着果数増加	ジ^**\リン 10~50ppm	100~150 L/10a	開花時	1 回	葉面散布	2回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は1回以内)
さやいんげん (矮性(促成又は 半促成栽培))	節間伸長促進	ジベレリン	1 株当り 2mL	本葉 0.5~1.5 枚展開 時	2 EUV #	茎頂部散布	3回以内 (種子への処理は
しそ (花穂)	穂の伸長促進 花径の伸長促 進	5ppm	50 L/10a	出穂期 但し、収穫 5 日前ま で	2回以内	茎葉散布	1回以内、は種後 は2回以内)
いちご (促成栽培)	着果数増加 熟期促進	ジベレリン	1 株当り	休眠に入る直前 (冬場の低温期)	1株当り 6回以内	茎葉全面散布	1 株当り
いちご	果柄の 伸長促進	10ppm	5mL	頂花の出蕾直後 〜開花直前	1 花房 当り1回	株の中心部に散布	10 回以内
いちご (親株床)	ランナー発生促進	ジ`ベレリン 50ppm	1 株当り 10mL	採苗時 ランナー発生直前 ~発生初期	1 株当り 1 回	茎葉散布	1株当り1回

					本剤の		ジベレリンを	
作物名	使用目的	使用濃度	使用液量	使用時期	使用回数	使用方法	含む農薬の 総使用回数	
ごぼう (促成 栽 培)	休眠打破による 生育促進	ジベンリン 10~15ppm	50~100 L/10a	休眠に入る直前 (残葉2枚程度の 頃) 及びその約1ヵ月 後	2 回以内	茎葉散布	3回以内 (種子への処理 は1回以内、は 種後は2回以 内)	
				但し、収穫30日前まで		*****		
メロン	着果促進	ジ`ベレリン 200ppm	1 花当り 2~5 mL	開花前日~翌日	1 花当り 1 回	散布 (4-CPA 剤 50 倍液に 加用)	種子への 処理は1回、 1花当り1回	
ばれいしょ	休眠打破による 萌芽促進及び小 粒いもまたは全	5∼10ppm	- 250~300mL	植付前		30 秒間 種いも浸漬		
	粒種いもの増収		/種いも 10kg		1 回	種いも散布	1回	
シクラメン	開花促進	ジ`ベレリン 1~5ppm	1 株当り	9月中・下旬	1 []	花蕾を含む芽の 中心部に散布		
プ リムラ (マラコイデス)	州山灰座	ジベンリン 10~20ppm	2∼5 mL	11 月上旬頃の 花蕾出現直後		株の中心部に散布		
みやこわすれ	開花促進	ジベンリン 50~100ppm	1株当り 10~15 mL	1月中旬の 保温開始時から 7~10日間隔	3 回	葉面散布	3 回以内	
きく	草丈伸長促進	ジベンリン 25~100ppm	50~100 L/10a	生育期	2回以内	茎葉散布	2 回以内	
しらん		シ゛ヘ゛レリン 50ppm	_	植付時	1回	30 分間株浸漬	1回	
チューリップ゜	開花促進	ジ ヘ レリン 400ppm	1 球当り 1mL	草丈 7~20cm の 時に 7 日間隔	2回以内	筒状の葉の中心部に 滴下	2回以内 2回以内 (種子への処理は 1回以内、は種後 は1回以内)	
(促成栽培)	花丈伸長促進及 び茎の肥大促進	ジ`ベレリン 100ppm		草丈 7~10cm 時		ホルクロルフェニュロン 0.05~ 0.1ppm 液に加用 葉筒内に滴下		
	発芽促進	ジベンリン 50~200ppm	_	は種前		種子浸漬		
りんどう	生育促進	ジ^゛レリン 100ppm	50~150 L/10a	定植直前または 定植 1~5 週間後		茎葉散布		
			1 株当り 5~ 10mL	収穫後		切株散布		
カラー	生育促進	生育促進	シ゛ヘ゛レリン		植付時		球根浸漬	2 回以内
		50ppm ジベレリン	L/10a	花茎伸長期 出荷予定期の	1回		. ,,,,,,	
スパ [®] ティフィラム	開花促進	250~500ppm ジベレリン	30∼40 L/10a	2~3ヵ月前 生育期間中に		茎葉散布	1 回	
トルコキ゛キョウ	生育促進	50~100ppm ジベンリン		ロゼット化した時 活着直後又は萌芽				
ソリタ゛コ	111-11-11-1	25ppm ジ'ヘ"レリン	1株当り 1mL 30~40	後 開花予定日				
アサ゛レア	開花促進 2:	250~500ppm ジベンリン	L/10a	約1ヵ月前				
ア们ス	生育促進	50~100ppm ジベレリン	_	植付時		球根浸漬		
花き類 (りんどうを除く)	発芽促進	シヘレリン 50~200ppm		は種前		種子浸漬		
さつき (施設栽培苗)	茎の伸長促進 花芽分化の 抑制	ジベンリン 100~200ppm	50~100 L/10a	茎の伸長初期~ 伸長終期(開花盛 期以降)1~2 週間 間隔	3 回	頂芽に十分散布	3 回以内	
さくら (切り枝促成栽培)	休眠打破に よる生育促進	ジ^*レリン 25~50ppm	50~200 L/10a —	休眠期	1回	切り枝全面散布 切り枝浸漬	1回	
	l		1	i .			L	

使用期限:5年